

緑の保全・活用を考える「市町&企業」意見交換会 in 入間市

～「加治丘陵」で一緒に緑の保全・活用に取り組みませんか～

埼玉県では県内の緑や自然を地域の財産として守り育てながら、社会課題を解決し、地域の魅力や価値向上を図る、県内の里山や平地林などの緑の保全・活用の取組を推進しています。

この度、令和6年10月8日に開催した「緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会」を受けて、入間市「加治丘陵」での官民連携・共創での取組の実現に向けて意見交換会を開催することとしました。

意見交換会では、「加治丘陵」を所管している入間市からの説明後、市と意見交換を行うことができます。入間市の担当課と直接対話ができる貴重な機会となります。緑の保全・活用を通じて生物多様性保全への貢献やネイチャーポジティブの実現に興味がある企業・団体の皆様の参加をお待ちしています。

【日時】

令和6年12月17日（火）13時00分～16時00分 ※開場12時30分

【会場】

入間市農村環境改善センター 2階会議室（入間市大字下谷ヶ貫 915-3）
会場アクセスは次ページ参照

【対象】

事業者、団体

- ・官民連携・共創による「加治丘陵」での保全・活用に興味がある方、検討してみたいと考える方はぜひご参加ください。
- ・埼玉県内の企業であることは問いません。
- ・令和6年8月1日に県主催で開催した「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー、令和6年10月8日に開催した『緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会』の出席の有無は問いません。

【参加費】

無料

【内容】

1. 入間市より加治丘陵の概要説明
 2. 意見交換（打合せ方式にて）
 - ・どんな緑の保全・活用をしたいか
 - ・企業として緑へどのような関わりを求めるか
 - ・ネイチャーポジティブを実現するために互いができること
必要なこと・やりたいこと
 - ・山林（加治丘陵）で具体的にどんな活動を行いたいと考えているか。
（イメージでも結構です）
 - ・活動を通して、市や地元団体とどんな協力・支援の関係を築きたいと考えているか。
 - ・加治丘陵のこんなところを見たい、知りたい。
 - ・活動頻度、期間はどのくらい考えているか。
- ※事前の申込フォームへの記載事項を確認のうえ、当日は一步踏み込んだお話をさせていただきたいと思っております。できる限り、自由記述欄への記入へのご協力をお願いします。
3. 現地視察
 - ・企業・団体の要望に応じて、約1時間でコース設定します。
 - ・動きやすい服装、運動靴等の歩きやすい靴にてご来場ください。
（スーツ、革靴ではなく、普段着や作業着等をお勧めします。）

【会場アクセス】

入間市農村環境改善センター https://iruma-noukai.jp/#sec2_2

（入間市大字下谷ヶ貫 915-3）

～自動車～

駐車場あり

（台数に限りがございます。複数人で来場の場合は、同乗での来場にご協力をお願いします。）

～公共交通機関～

西武池袋線 入間市駅より西武バス（毎時2～3本程度）

<入市32-1>河辺駅北口行、<入市32-2>七日市場行

<入市33-1>南峯行、<入市33>中神行

JR青梅線 河辺駅北口より西武バス（毎時1本程度）

<入市32-1>入間市駅行

JR八高線 金子駅より徒歩8分 西武バス「南峯」バス停より
（毎時1～2本程度）

<入市32-1><入市32-2>入間市駅行

<入市33-1>入間市駅行

上記いずれかのバスにて

中神バス停下車 徒歩8分

谷ヶ貫寺バス停下車 徒歩6分（<入市33>は行きません）

なお、自動車、公共交通機関等での来場が困難な場合は、申込時に申込フォームにてご相談ください。

【参加申し込み】

下記 URL または二次元コードのフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/9jBFPL6FjgmwyXpb9>



※申し込み締切 12月13日(金)17時まで

【問合せ】

埼玉県環境部みどり自然課 みどり保全・総合調整担当

E-mail : a3140-11@pref.saitama.lg.jp

入間市

加治丘陵

緑地区分	山林
所在地	入間市北西部
規模 *単位:ha	約424ha
緑地の特徴	・昔から人々の生活と密着する里山で、尾根や谷など起伏に富んだ地形をしている。 ・保全区域をはじめとする加治丘陵内では多くの野生生物や、豊かな植生が見られる。 ・クリ・コナラ雑木林とスギ・ヒノキ植林が80%以上の面積を占める。
管理の状況	・NPOによる下草刈り、樹木伐採 ・その他業者委託による危険木伐採
連携先	特定非営利活動法人加治丘陵山林管理グループ



アピールポイント

加治丘陵は奥武蔵の山地から突き出た形の丘陵であり、平野に近い場所で多くの野生生物が生育・生息する自然の拠点です。入間市では自然環境の保全を目的として加治丘陵さとやま計画に基づく公有地化を進めています。都市部から鉄道や圏央道でアクセスしやすい立地で、ハイキング等も気軽に楽しめます。

企業・団体と連携したいポイント

加治丘陵の資源を活用し、新しい魅力創出の取り組みに協力していただけるパートナーを広く募集します！

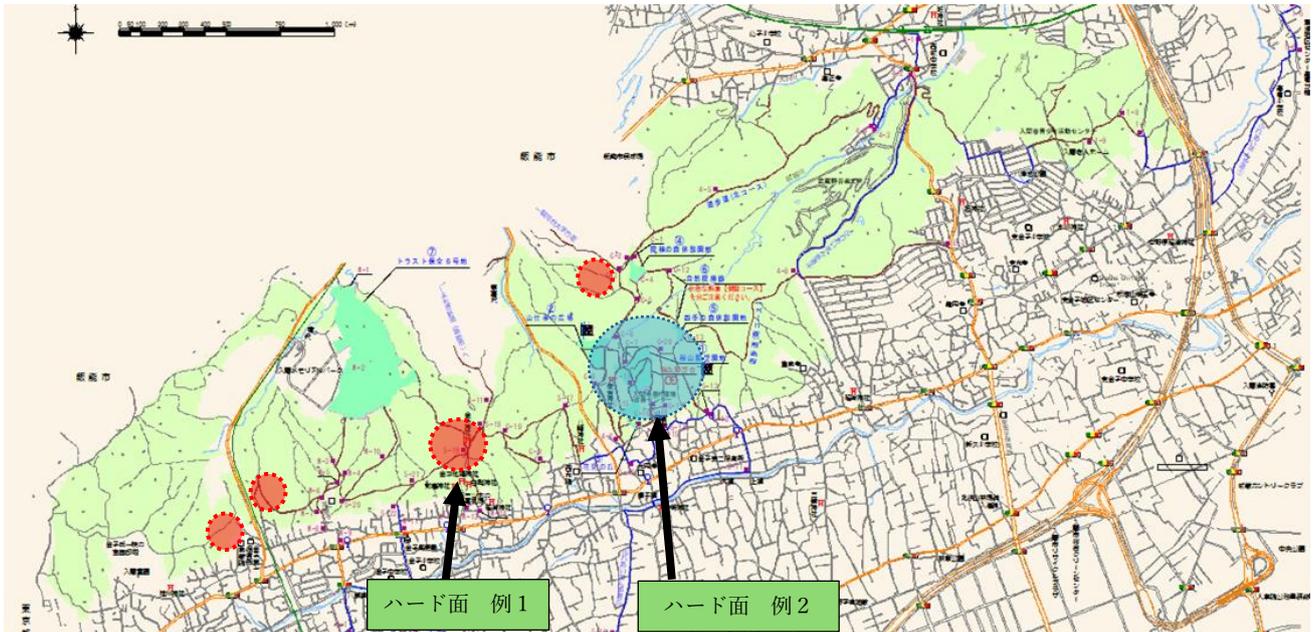
ハード面での協力・支援

- ①維持管理活動への協力
 - ・ボランティア団体活動地跡地等で下草刈り、伐採等の山林活動の定期実施
 - ・遊歩道周辺の下草刈りなど既存ボランティア団体との協働
- ②既存施設の修繕・更新（活動地は固定しない）
 - ・階段、手すり、遊歩道路面、四阿、ベンチなどの補修
 - ・加治丘陵各所の看板、案内板等が朽ちている箇所の更新
 - ・泥や落ち葉が堆積している側溝の清掃
- ③未活用地の森林再生
 - ・寺竹配水場跡地や団体活動跡地で植樹活動、土留め、階段、四阿などの施設整備

ソフト面での協力・支援（企業・団体の本業を生かした新規活動の例）

- ・通信、マッピングなどデジタル技術の活用
- ・山林ガイド、山遊びイベント等の事業開催
- ・周辺の商業施設、商店街、ツーリズム事業等との連携
- ・各所に残地されている枯損木の丸太を加工し、商品として再活用する
- ・森林の保全活用に関する広報媒体での情報発信や講演会開催による普及啓発活動

加治丘陵全体図



○ハード面

【例1：山林管理ボランティア団体活動地の跡地での草刈り作業】

- ・高齢化等の影響で解散した団体活動地で、草刈りや伐採等の山林管理活動を行う。

【例2：階段、手すり、ベンチなどの補修】

- ・老朽化した木製の階段、手すり、ベンチ等の施設を加治丘陵内の伐採木を活用し 更新作業を行う。



○ソフト面

【例1：枯損木の丸太を加工し再活用する】

- ・丘陵内に多数ある枯損木の丸太を再利用することで、資源循環に取り組む。

【例2：周辺の商業施設、商店街、ツーリズム事業等との連携】

- ・駅周辺やアウトレット等の商業施設と協力し、加治丘陵を起点とした来訪者増加や魅力向上に取り組む。

